

Ⅱ コミュニティの意義

2) 釧路市橋南地区における 「コミュニティの希薄化」

釧路市橋南地区に焦点を当てた理由

釧路発祥の、いわばシンボルのような土地

釧路市の中でも特に高齢化が進み、コミュニティによる相互扶助が求められている

Ⅱ コミュニティの意義



Ⅱ コミュニティの意義

橋南地区在住の高齢者へのヒアリング

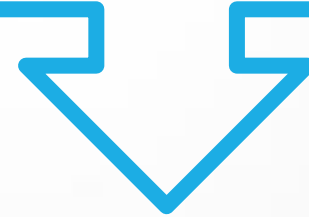
- 地域住民同士で交流する機会が年々減少
- 若い世代との交流は特に減少



交流の場が減少

Ⅱ コミュニティの意義

橋南地区コミュニティは
希薄化している



コミュニティを再生する必要がある

Ⅱ コミュニティの意義

3) コミュニティ再生に向けて

橋南地区で「共助」の充足を図る際、
そのための「コミュニティの再生」が
必要になる。

Ⅱ コミュニティの意義

3) コミュニティ再生にむけて

むやみに交流の場を増やしても共助が供給できるわけではない。



**持続的で、
幅広い世代の人で構成された**
コミュニティである必要がある

Ⅱ コミュニティの意義

持続的かつ
幅広い世代である理由

地域福祉 世代を問わず幅広い人で構成されたコミュニティそのものが高齢者の社会参加ニーズの充足

地域教育 高齢者も含め、コミュニティの全ての人が子どもの教育資源

Ⅱ コミュニティの意義

「コミュニティ再生」で「共助」を充足する場合
持続可能で、幅広い人が参加しやすい仕組みを持った
コミュニティづくりが必要



フットパス

Ⅲ フットパス

Ⅲ フットパス

1) フットパスとは？

元々はイギリス生まれで、日本では「森林や田園地帯、古い町並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しめる小径」のことを指す。また、このみちを歩くことの総称。

観光事業の一環として用いられることが多い。

Ⅲ フットパス

フットパスの効果

1. 地元愛の醸成
2. コミュニティの形成
3. 毛細血管的経済効果



今回は2のコミュニティの形成に着目

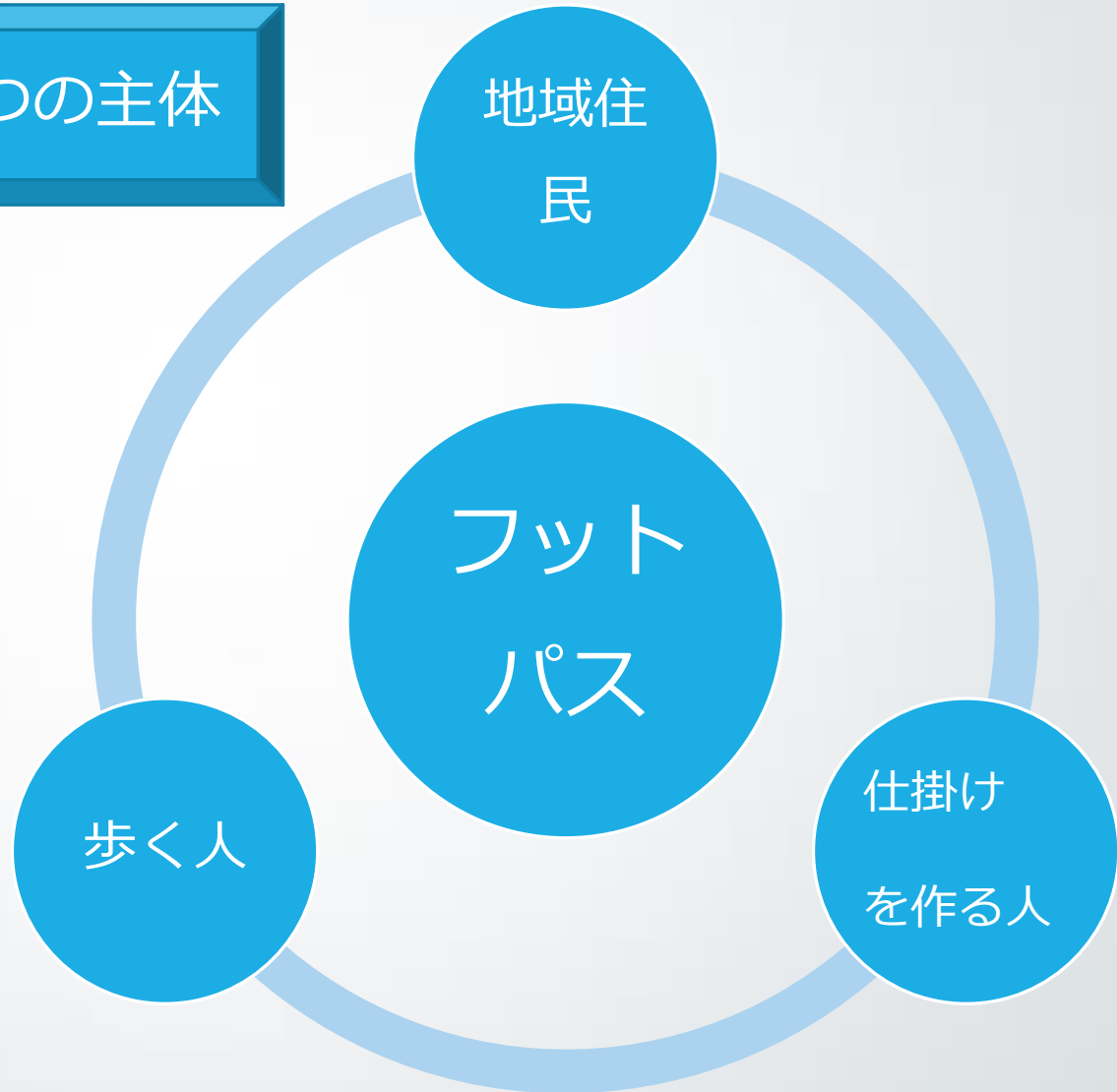
Ⅲ フットパス

2) フットパスによって
形成されるコミュニティとは

- ・ **開けたコミュニティ**
- ・ **持続性を持つコミュニティ**
(地域住民が主体的になる)

Ⅲ フットパス

フットパスの3つの主体



Ⅲ フットパス

導入の留意点~失敗例~

以前のフットパスブームにおける導入例

仕掛け人(行政)によるコース作成&提示→参加者に歩いて貰う



仕掛け人主体の導入では
地域住民の協力を得られず、長続きしなかった

Ⅲ フットパス

失敗例をふまえた留意点は・・・

フットパスが出来上がった時点で
仕掛け人の役割を地域住民が担うこと